



平成17年11月9日

各位

会社名 AOCホールディングス株式会社
代表者名 取締役社長 坂本 吉弘
(コード番号 5017 東証第一部)
問合せ先 IR・広報部長 関川 宏一
(TEL 03-5463-5065)

平成18年3月期通期業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成17年5月16日の決算発表時に公表した業績予想および配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成18年3月期 連結通期業績予想の修正(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回公表予想(A)	440,000	16,500	11,000
今回修正予想(B)	660,000	18,000	11,500
増減額(B)－(A)	220,000	1,500	500
増減率	50%	9%	5%
前年度実績	477,295	17,555	17,248

2. 平成18年3月期 個別通期業績予想の修正(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	営業収益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回公表予想(A)	1,617	726	724
今回修正予想(B)	2,220	1,160	1,140
増減額(B)－(A)	603	434	416
増減率	37%	60%	57%
前年度実績	1,673	770	734

3. 平成 18 年 3 月期（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）配当予想の修正

1 株当たり配当予想の修正

（金額は 1 株当たり）

	期末配当金	年間配当金
前回公表予想 (A)	10 円	10 円
今回修正予想 (B)	15 円	15 円
増減額(B)－(A)	5 円	5 円
前年度実績	10 円	10 円

4. 主な修正の理由

(1) 連結通期業績予想の修正について

平成 18 年 3 月期連結通期業績につきましては、上半期においては原油価格が当初見通しを上回る高値圏で推移し、期首安値在庫の取出し益や原油の重軽格差拡大など原価低減効果を楽しむことができました。しかしながら、下半期においては、安定した販売量を見込み、油価上昇により売上は増大するものの、一部石油製品のマージン縮小、コスト面での安値期首在庫の影響の漸減、自家燃料費の負担増などが予測されるなど、厳しい環境が見込まれます。

通期業績予想においては、下期の対米ドル為替レート 110 円、ドバイ原油 51.5 ドル/バレルを前提として、当初の予想を売上高 6,600 億円、経常利益 180 億円、当期純利益 115 億円で修正いたします。

(2) 個別通期業績予想の修正について

平成 18 年 3 月期個別通期業績につきましては、グループ中核事業子会社であるアラビア石油(株)および富士石油(株)より中間配当金 1,145 百万円を下半期に受領することとしたため、当初の予想を営業収益 2,220 百万円、経常利益 1,160 百万円、当期純利益 1,140 百万円で修正いたします。

(3) 配当予想の修正について

今回の連結通期業績予想および本日別途公表した「中期事業計画（平成 18 年度～20 年度）」における収益見通し、ならびに将来の収益基盤強化に向けた大型投資のための資金需要等を勘案した結果、期末配当金予想を 1 株あたり 15 円に修正いたします。

なお、本資料記載の予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは今後様々な条件・要因により予想数値と異なる場合があります。

以上